

別紙

Ⅰ. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業	幌延町	11,720,964	11,642,094	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表

番号	交付金事業の名称		
	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町	
交付金事業実施場所	幌延町一円		
交付金事業の概要	原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業を実施します。 具体的には、エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配布、情報収集等です。		
総事業費	11,720,964	交付金充当額	11,642,094
		うち文部科学省分	-
		うち経済産業省分	11,642,094
交付金事業の成果目標	最新で正確な事業内容に関する情報収集による知識の蓄積・普及を促進し、関係機関との的確な連携構築により、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図ることを目的として事業を実施します。		
交付金事業の成果指標	成果目標の達成のため、本交付金を活用した事業により、エネルギー関連施設見学会の町民参加50名、講習会の地域住民参加180名、広報用パンフレット配布部数300部により、知識の普及を図ります。 なお、エネルギー関連施設見学会においては、見学者の施設理解度を60%と設定します。		
交付金事業の成果及び評価	事業実施により、最新でより正確な事業内容に関する知識や情報を得、また、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及に努めることにより、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るとともに、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及を図ることができました。 ・エネルギー関連施設見学会を2回、計59名の町民参加で実施し、知識の普及に努めました。見学者アンケート及びレポートにより施設理解度は84.7%を得られました。 ・講習会を3回、延べ251名の地域住民参加で実施し、知識の普及を図ることができました。 ・広報用パンフレット300部を配布し、知識の普及を図ることができました。 来年度以降についても、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るため、継続して事業を実施していきます。		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
国内調査(旅費)	—	幌延町職員	997,800

研修(旅費)	—	幌延町職員等	210,229
情報収集整理	随意契約(競争入札不適)	各新聞社等	371,154
情報収集整理(賃金)	—	幌延町臨時職員	1,991,673
情報収集整理	随意契約(少額)	ダーシェニカ	14,083
情報収集整理	随意契約(競争入札不適)	(一社)京都大学学術出版会	3,050
新聞、雑誌等広報	随意契約(競争入札不適)	各出版社等	709,200
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(少額)	ダーシェニカ	46,116
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(競争入札不適)	一般社団法人日本電気協会新聞部	97,200
講演会、講習会、懇談会	随意契約(少額)	(有)サロベツ商事	99,997
講演会、講習会、懇談会	随意契約(競争入札不適)	北電興業(株)	982,800
講演会、講習会、懇談会	随意契約(競争入札不適)	各新聞社等	134,217
講演会、講習会、懇談会	随意契約(少額)	ダーシェニカ	38,880
見学会	指名競争入札	東武トップツアーズ(株)	3,465,752
見学会	指名競争入札	東武トップツアーズ(株)	2,469,780
見学会	随意契約(少額)	ダーシェニカ	25,695
見学会	随意契約(競争入札不適)	各新聞社等	2,998
連絡調整(旅費)	—	幌延町職員	47,700
連絡調整	随意契約(少額)	ダーシェニカ	12,640
	計		11,720,964

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

無